

学校全体で取り組む親切運動について

学校名 射水市立金山小学校
児童数 57名

1 親切運動の取組の紹介

①学校内での活動「挨拶大使による挨拶運動」

本校では、あいさつ運動を積極的に行っている。朝の挨拶はもちろん、学校ですれ違う来校者に明るく「こんにちは」と挨拶ができる児童が多い。今年度は、「あいさつ名人」と呼ばれる児童が3名いる。子供たちからの自主的な活動から始まり、次世代に受け継がれた。「あいさつ名人」は次の名人を紹介し、次々と「あいさつ名人」が生まれている。「あいさつ名人たち」は、全教室を周り、全校児童に明るい挨拶をしている。活動を通して、他の子供たちもその姿を見て、明るい表情で挨拶を返す姿がたくさん見られるようになっている。



②学校と保育園との交流活動

本校では、保育園児との交流も大事にしている。例えば低学年は、運動会の種目「玉入れ」を園児と一緒にやっている。5年生は、入学説明会で楽しい遊びをして盛り上げた。来年度入学する園児に対する温かい気持ちをもって接することで、上級生が下級生に優しく接する学校文化の素地をつくっている。



③学校と地域との活動

本校では、コミュニティスクールとして、地域の方々と一緒に活動をする機会が非常に多い。「子供たちは金山の宝」と言われるほど地域の方々に愛されており、様々な活動に協力いただいている。例えば、学校畑や学校田の植え付け・収穫体験と一緒にやっている。子供たちは、お世話になっている方々に感謝の気持ちを持ち、手紙を書いたり、集会で感謝の気持ちを伝えたりしている。このような子供たちに対する地域の方々の温かい気持ちと地域の方々への児童の感謝の気持ちが往還することによって、子供たちは、地域の方々の優しさを大事にしながら、感謝の気持ちをもって過ごしている。



【年間を通した活動内容（一部）】

活動名	活動内容	活動対象	時期
あったか家族の取組	市が推進する「あったか家族の日」に家族と取り組んでいる内容を校内ビデオ放送でインタビューする。	全校	通年
対面式	「金山っ子を守り育てる会」の方や地域ボランティアの方等を招待し交流を図ることで、親しみをもったり感謝の気持ちを高めたりする。	地域	4月
保育園との交流	保育園児を学校に招いたり、訪問したりする。また一緒に避難訓練や生活科の授業等を行い、交流を図り、異年齢の友達に対する思いやりの心を高める	保育園児	5月・10月・11月
高齢者の学校行事への招待	運動会や学習発表会等に地域の高齢者の方を招待し、いろいろな方に喜んでもらったり、誰かのために役立ったりする心地よさを感じる。	地域	5月・11月
親子早朝除草作業	親子一緒に除草等を行い、気持ちよく運動会や2学期を迎える準備をする。	地域	5月・8月
収穫感謝の集い	「金山っ子を守り育てる会」の方や地域ボランティアの方等を招待し、一緒に学校田で収穫した餅米をついたり、各学年からプレゼントを送ったり、出し物を披露したりする。感謝の気持ちを伝えるとともに地域社会の一員としての自覚を高める。	地域	11月
募金活動	赤い羽根共同募金、書き損じはがき回収等の活動に協力する。	地域	随時

2 親切運動に取り組んで

・取組の成果

毎年行う活動であっても、子供たちの願いを入れることで、互いに大切にしている温かい気持ちが育っている。

・課題と今後に向けて

伝統として受け継がれる活動と新たに子供たちが立て上げた活動があり、時間の確保が難しい現状もある。子供の思いを大切にしながら、活動の精査を行い、よりよい活動にしたい。